

第75回全国高等学校PTA 連合会大会 2026大分大会に参加して 岩田 淳

2026年8月20日(木)～21日(金)

20日(木) 第2分科会 進路指導

テーマ 大学入試と非認知能力

サブテーマ 変化の激しい時代に対応するか

【講演1】変わる大学入試のポイントと受験生の心構えと準備について

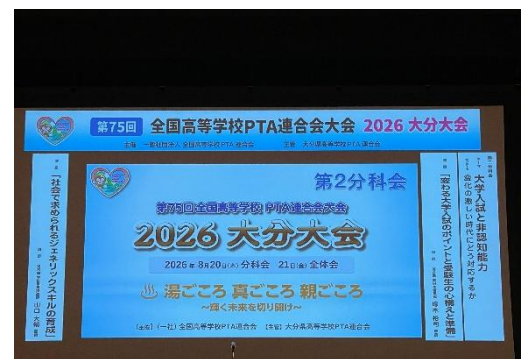
(講師:河合塾 東日本営業部 部長 塚本裕司 氏)

新学習指導要領や「情報Ⅰ」新設など大学入試の最新動向が示され、単なる知識量ではなく複数資料を読み解く思考力が問われる現状を学びました。早期の目標設定と学習サイクルの確立、そして保護者が情報共有や生活面・メンタル面で温かく伴走することの重要性を実感しました。

【講演2】社会で求められるジェネリックスキルの育成について

(講師:河合塾 学校事業推進部 部長 山口大輔 氏)

企業が重視する「主体性」や「対人能力」などの非認知能力について解説がありました。部活動や探究学習での「トライ&エラー」を通じて個々の強みを伸ばすこと、また進路選択で情報を可視化し「自分で納得して決める(自己決定)」体験こそが、将来の主体性と幸福感につながると学びました。



21日(金) 全体会

【記念講演】「夢が導く諦めない気持ち」

(講師:元プロ野球選手 内川聖一 氏)

元プロ野球選手としての歩みから、挑戦と成長の心得が語られました。怪我や挫折など一見マイナスに見える経験も考え次第でプラスに変えられること、うまくいかない時は「自分を諦めて作り直す」柔軟な思考が大切だと教わりました。身近な大人が温かく見守り、試行錯誤の機会を与えることの大切さを痛感しました。

【参加を終えて(全体感想)】

2日間の講演を通じ、子供たちが変化の激しい時代を自分らしく歩むためには、学力のみならず自ら考え「自己決定」する力を育む環境が必要だと深く実感しました。家庭でも結果だけに捉われず、失敗を恐れず挑戦する姿を温かく支える「伴走者」でありたいと思います。まさに別府名物の「地獄めぐり」も吹き飛ばすほど、参加者の情熱と親心がグツグツと湧き立つ、最高に熱く有意義な大分大会となりました。この経験を今後のPTA活動に活かしてまいりたいと思います。この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。

